

科 目 名		子育て支援					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者		田 中 麻 里						
開 講 年 次		4	開講期	通年	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい		まず子育て支援の歴史、背景、政策や現状および課題を概説する。そのうえで、乳幼児期～未就学期、小学生期に焦点をあてた子育て支援活動に関する情報提供を行う。大学内外で実際に行われている活動の見学・観察・実践を通して、子ども・保護者や家族に対する支援の方法を体得しながら、教育保育者・子育て支援者に必要なスキル対人援助技術の基礎を培うことをねらいとする。主として子どもには遊びの提供、保護者や家族には子育てに関する情報の提供および交換を行うことができるように、①遊びの企画・立案（指導計画案作成）・実施、②子育てに関する情報収集と提供の方法、③活動の省察および自己評価の観点などを紹介し活動を展開していく。						
授 業 の 到達目標		(1) 子育て支援の歴史、背景、政策の現状と課題を説明できる。 (2) 乳幼児～小学生およびその保護者・家族への支援の必要性について述べることができる。 (3) 子育て支援活動に関する企画・立案・実施・省察・報告に主体的に取り組むことができる。 (4) 子育てに関する情報収集と提供ができるように主体的に取り組むことができる。 (5) 実践活動に積極的に取り組み、対人援助技術を体得する。 (6) 保護者に対するよりよい支援を考えることができる。 (7) 子育て支援者を目指す者としての自覚と責任を持ち、活動に取り組むことができる。 (8) 実践活動は計画的に創意工夫を重ね、協力的にかつ楽しみながら行う。 (9) これからの子育て支援の方向性について、自分なりの考えを述べることができる。						
学 習 方 法		講義、ディスカッション、調査・発表、フィールドワークなど						
テキスト及び参考書等		関連資料等を、随時配布する。						
評価基準・方法		到達 目 標						
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験								
小テスト等		○			◎			10
宿題・授業外レポート		○	○		◎	○		15
授業態度		○	◎		◎	○		30
受講者の発表		○	○		◎	○		15
授業への参加度		○	◎		◎	○		30
その他								
合 計								100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）								
通 年	第1週	前期：オリエンテーション（授業内容の説明）子育て支援とは						
	第2週	子育て支援の歴史、現状、課題						
	第3週	妊娠・出産・乳幼児期・小学生期の支援						
	第4週	子育て支援活動（1） 見学・観察・記録 フィールドaまたはb						
	第5週	子育て支援活動（2） 見学・観察・記録 フィールドaまたはb						
	第6週	子育て支援活動（3） 見学・観察の報告及び意見交換						
	第7週	子育て支援活動（4） 企画・準備						
	第8週	子育て支援活動（5） 企画・準備						
	第9週	子育て支援活動（6） 実践活動・省察 フィールドaまたはb						
	第10週	子育て支援活動（7） 実践活動・省察 フィールドaまたはb						
	第11週	子育て支援活動（8） 実践活動の報告および意見交換						
	第12週	後期：子育て支援活動（9） 見学・観察・記録 フィールドaまたはb						
	第13週	子育て支援活動（10） 見学・観察・記録 フィールドaまたはb						
	第14週	子育て支援活動（11） 見学・観察の報告及び意見交換						
	第15週	子育て支援活動（12） 企画・準備						
	第16週	子育て支援活動（13） 企画・準備						
	第17週	子育て支援活動（14） 実践活動・省察 フィールドaまたはb						
	第18週	子育て支援活動（15） 実践活動・省察 フィールドaまたはb						
	第19週	子育て支援活動（16） 実践活動の報告および意見交換						
	第20週	これからの子育て支援（まとめ／活動報告会）						
	第21週							
	第22週							
	第23週							
	第24週							
	第25週							
	第26週							
	第27週							
	第28週							
	第29週							
	第30週							
	第31週							
	第32週							
備 考								